

聖陵 Sei-Ryou

2026.3 Vol.29
盛岡大学聖陵同窓会報



発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0694
岩手県滝沢市砂込 808 盛岡大学内
電話 .019-688-5555
ホームページアドレス
<http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/>

CONTENTS

■ 同窓会長挨拶	1	■ 大学の今	3
■ 学長就任のご挨拶	2	■ 恩師からのメッセージ	4
■ 活躍する在学生	2	■ 事務局だより / 編集後記	4
■ 卒業生は今	2		



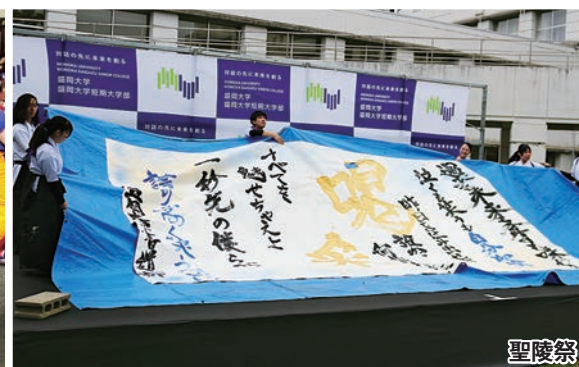
モリダイ・モリタン出張 mini オープンキャンパス



サウスビュージェット・サウンド・コミュニティカレッジ
(アメリカ・ワシントン州) サマープログラム



盛大ドリーム33



聖陵祭

恒川さんは、2015年度の文学部児童教育学科の卒業生で、2016年度のミスさん選に選ばれました。その後、盛岡市の観光大使や岩手県の観光大使を務め、現在は司会者等の活動をしています。また、NPO法人未来図書館で子どもと社会をつなぐ教育支援の活動もされております。恒川さんは在学中に、うまくいかない事が続いた時に、当時の盛岡大学の職員や教員、先輩や後輩達が掛けてくれた「あなたの挑戦をちゃんと見てくれる人が必ずそばにいます。」という言葉が胸に、今日まで

恒川さんは、2015年度の文学部児童教育学科の卒業生で、2016年度のミスさん選に選ばれました。その後、盛岡市の観光大使や岩手県の観光大使を務め、現在は司会者等の活動をしています。また、NPO法人未来図書館で子どもと社会をつなぐ教育支援の活動もされております。恒川さんは在学中に、うまくいかない事が続いた時に、当時の盛岡大学の職員や教員、先輩や後輩達が掛けてくれた「あなたの挑戦をちゃんと見てくれる人が必ずそばにいます。」という言葉が胸に、今日まで

盛岡大学は昨年四月に、長谷川公一学長が就任され、新たなスタートを切りました。長谷川学長は、学長の職務だけでもご多忙であるにもかかわらず、リカレント教育等の講演も精力的に行っておられます。盛岡大学が地域社会に必要とされ、更なる貢献を目指す為に、長谷川学長が今後もリーダーシップを遺憾なく発揮される事は、間違いありません。卒業生の皆様におかれましては、職場や家庭、地域で社会の歯車として、日々頑張っておられる事でしよう。



盛岡大学聖陵同窓会
会長 菅原 元

開学から45年、現在の盛岡大学

同窓会長 あいさつ

頑張ってくる事が出来たと話されました。盛岡大学でのかけがえない出会いの一つが、今の自分を形成している、全てが今の原動力に繋がっている事です。『盛大愛』に人一倍溢れている恒川さんの御活躍を期待すると共に、今後も盛岡大学の魅力を発信して頂きたいと思っています。

次に、私自身が所属する職場であります、リコージャパン株式会社岩手支社について紹介させて頂きたいと思えます。現在、盛岡大学の同窓生8名が勤務し活躍しています。ここまで多くの盛岡大学の卒業生が在籍している職場も、数少ないかもしれません。元気に頑張る、多くの卒業生を送り込んで頂いている盛岡大学には改めて感謝いたします。なお、8名の同窓生での写真を掲載させて頂きます。

最後になりますが、約一万五千名の聖陵同窓生皆様のご健勝と、今後とも盛岡大学及び聖陵同窓会への御支援をよろしくお願い致します。



学長就任のご挨拶

盛岡大学学長 長谷川 公一



高橋俊和前学長のあとを引継ぎ、昨年四月から盛岡大学学長に就任いたしました。専門は社会学、とくに環境社会学や社会運動、市民社会論などを研究しています。

地方の私立大学はいずれも、一八歳人口の低下にともなって、大変きびしい経営環境にあります。とくに北東北に位置する本学にとって状況はとくにきびしいものです。しかし着任以来、地域社会からのあたたかい期待、地域社会との長年の信頼関係が、本学の何よりの財産であり、今後の大学運営にとっても大きな柱となりうるものであることを実感しております。

本学の前身、盛岡生活学園は、昭和二十六年、一九五一年に創設されました。北東北の「食の貧しさ」と高い乳幼児の死亡率を改善したいという、創設者

細川泰子先生の崇高な思いから生まれた歴史を持っております。二〇二六年は創設七五年、盛岡大学設立四五年、細川先生生誕二〇年の記念すべき年です。

津田塾・大妻・実践・跡見学園など女性が創設した女子大学は全国に幾つもございますが、女性が創設し、初代学長を務めた、当初から男女共学の短期大学、四年制大学は全国的にも珍しく、私の知る限り、本学のみです。本学はその意味でも、大きな先駆性をもっております。

私は、大学は「窓」と考えています。大学案内にも、「大学は、知の窓。新たな世界へいざなう窓。これまでとこれからをつなぐ窓。ふるさとと未来をつなぐ窓。新しい自分と出会う窓。あなたの未来に向かって開かれた大きな窓です」と記させていただきました。

マイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツがパソコンのOS、基本ソフトを一九八五年、今から四一年前にウィンドウズと名付けたのはまさに卓抜なアイデアだったと思います。これからは、パソコンが幾つもの窓になる。今日のインターネットの時代を的確に予見し

ていました。

スマホとSNSがあれば何でもできると考えている若者に対して、大学ならではの窓としての機能を、いかに生き生きと実感させ、蘇らせることができるのか、この点こそが、大学生残りの最大の鍵だと考えております。

人生には失敗や挫折がつきものです。最近の若者は、失敗を避けようとする傾向が強いとよく聞きます。連日冬季オリンピックの熱戦を応援していますが、世界各国のどの選手も、それぞれ失敗や挫折、スランプを何度もくり抜けてこそ、今日の活躍があると思います。悔しさや失敗こそが「成功の母」です。失敗から学ぶ精神、挫けずに挑み続ける精神こそ、Aーにはない、人間の本当の強さです。

夜明けのこない夜はありませんし、春のこない冬はありません。若手の春も、もつすべです。大きく窓を開いて、岩手山を望む日も間近です。

同窓会のみなさまには、末永く、母校盛岡大学をご支援くださいますようお願い申し上げます。

卒業生は今



文学部 英語文化学科 令和6年度卒業
和同産業株式会社

藤本 美桜さん

現在、和同産業株式会で海外企画推進課に所属し、海外の取引先とのニーズを読み取り、製品やサービスを世界に届ける仕事に、日々やりがいを感じています。多くの人と関わりながら、挑戦と成長を楽しむ毎日です。一方で、大学時代も続けてきた極真空手では、2025年8月、京都で開催された全日本体重別空手選手権大会ー65kg級で優勝。東北・岩手勢として初の快挙を成し遂げました。仕事と競技の両立は決して簡単ではありませんが、会社全体の応援はもちろんのこと大学時代から応援してくださった皆様の存在が今もなお私の背中を押してくれています。来年には世界大会が控えているので出場のご報告ができるよう日々精進してまいります。これから社会に出る皆様、自分の信じた道を貫いてください。卒業生として、皆様一人ひとりのご活躍を心より応援しています。

活躍する在学生



文学部
児童教育学科 4年

加藤 凜さん

私は盛岡大学で学習に励む傍ら、4年生の9月に初めてビブリオバトルに参加し、全国大会を経験しました。新しいことを始めたいと考えていたとき、ゼミの笹平准教授にお誘いをいただいたことがきっかけでした。未知の世界で多くの方々との交流があり、貴重な経験ができました。勝ち負けよりも「楽しく飽きさせない5分間」を目標に練習を重ねたことが、全国大会への出場につながったのだと思います。短く効果的な言葉選びや抑揚、表情づくりなど、教育実習や講義で培った授業づくりの経験が活きたと感じています。

卒業後は宮城県で小学校教員として働きます。新しいことへ挑戦する姿勢や、人と人のつながりの大切さを子どもたちに伝えていきたいです。

令和7年度盛岡さんさ祭り

8月2日、盛岡大学・盛岡大学短期大学部さんさ踊り実行委員会は、盛岡さんさ踊りのパレードに参加しました。今年は「光焰万丈」をテーマに、昨年に続く二連覇を目標に練習に励んできました。過去の先輩方の演舞を参考にしたり、仲間と話し合ったりしながら、自分たちが思い描く理想の演舞に近づくために夜遅くまで練習を続けました。迎えた本番では「これぞ盛大さんさ」と言わんばかりの迫力のある演舞で見事「最優秀賞二連覇」を受賞することができました。最優秀賞で名前が呼ばれメンバーから溢れた涙を見たとき、これまでの苦しい練習で流した涙が報われた瞬間だと感じました。

来年度の目標はもちろん最優秀賞三連覇です。盛大さんさの歴史を繋ぎ、さらに進化を続けられるように頑張ります。今後とも暖かいご声援をよろしくお願いいたします。



図書館総合展 出展

盛岡大学図書館研究会は主に司書課程を履修している学生で構成され、日々の講義で得た知識を図書館見学を通して理解を更に深めていくという活動を行っています。

図書館研究会は10月に横浜で開催された図書館総合展で、盛岡大学学校図書館ボランティアと合同でポスター展示を行いました。出展の経緯は、司書課程の先生から学校図書館ボランティアの活動の普及をしてみないかと提案されたのがきっかけです。学校図書館ボランティアは岩手県内の学校図書館の水準を上げるべく、学校図書館で書架整備や除籍処理を中心にお手伝いを行っていて、図書館研究会と両方に所属している学生も多い団体です。

ポスター展示では岩手県の図書館の現状を紹介したのですが、展示を見にいらした方々からは、他県の学校司書の状況を教えていただいたり、ボランティア運営についてアドバイスをいただいたりと様々な収穫がありました。今回の活動で得た学びと経験を生かして今後も研究会・ボランティア共々活動を活性化させて行きたいと考えています。

盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念シンポジウム

令和7年10月11日(土)、「盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念シンポジウム」が開催され、約80名の皆さまにご参加いただきました。本シンポジウムは市民の皆さまに広く門戸を開き、留学や異文化交流への関心を高めることを目的として企画されたものです。はじめに盛岡大学とカモーンソン大学(カナダ・ブリティッシュコロンビア州ビクトリア)が38年にわたり築いてきた交流の歩みが紹介されました。続いて両大学間で留学を経験した3名が登壇し、留学中の思い出や現地で得た経験について語ってくださり、会場の多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。パネルディスカッションでは「多文化共生を掲げるカナダ及びビクトリアから、盛岡が学べること」をテーマに活発な意見交換が行われました。参加者からは、両都市および両大学の繋がりが歴史、関わった人々の想いを改めて知る良い機会になったとの声が寄せられました。



恩師からのメッセージ

文学部英語文化学科

教授 山形 守平



2018年4月から8年間お世話になりました。そのうち4年間は附属高校兼務という貴重な経験もさせてもらいました。この間はコロナ禍で思い描いたような教育活動ができなかったのですが、未来に向かって前に進む生徒・学生の皆さんに逆に元気や勇気をもたらしました。主に英語教員を目指す学生の皆さんとの関りが多かったですが、すでに教壇に立っている先輩たち、これからそこを目指して頑張る後輩たちに改めてエールを送ります。「幸せの4因子」とは「やってみよう」「ありのままに」「なんとかなるさ」「ありがとう」と言われています。これらを意識して是非ウェルビーイングな人生をお送りください。

栄養科学部栄養科学科

教授 木村 京子



この三月をもちまして、在職十年の節目に退職することとなりました。臨床栄養学の授業や病院実習を通じて、学生の皆さんが管理栄養士をめざし、知識と技能を着実に積み重ねていく姿に立ち会えたことは、私にとって大きな励みでした。日々の学びに真摯に向き合う姿勢から、私自身も多くの気づきを得ることができました。卒業後は、それぞれの道で研鑽を重ね、健康と栄養の分野に貢献していかれることを心より願っております。これまでの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

文学部児童教育学科

助教 長山 弘



令和5年4月に着任し、3年間大変お世話になりました。大学での勤務は初めてで、学生のみなさんに教えてもらう場面も多くありました。大学教員として少しでも成長する機会を多く与えてもらったと感じています。

私は盛岡大学に着任するまで東北を訪れたことがなく、冬の積雪や寒さに、また、教育実習巡回で私の出身である四国と岩手県との大きさが同じであることを知り東北の広さに驚いたりしました。

今年度で盛岡大学を退職いたしますが、これまでお世話になったすべての方に感謝を申し上げますとともに、卒業される皆さんの今後のご活躍をお祈りいたします。

文学部児童教育学科

教授 竹之下 典祥

緑の杜に棲みついで



2014年。岩手に単身で移り住んで12年経ちました。この間、学校法人盛岡大学の教職員・在学生のみならず、聖陵会・アネモネ会の皆様、在学生・保護者の皆様のご理解やご支援によって生かされてきたことを実感しております。また、定年退職に際し、挨拶の機会を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、前任校の同窓会誌『葵』に、「緑の街に舞い降りて」と題して退職の挨拶を申し上げました。今回、「緑の杜に棲みついで」は三年半前に盛岡のマンション生活を断念して岩手山麓の小舎に移り住み、岩手の人の温かさや自然の恵みを日々感じる感謝の毎日からのタイトルです。

宗教委員としても多くを学ばせて頂きました。新約聖書テサロニケの信徒への手紙5章23節から25節・解題「わたしたちの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。わたしたちをお招きになった方は、真実で、必ずそのようにしてください。みなさん、わたしたちの互いのためにも祈ってください。」を感得させて頂く恵みを得ることができました。ご一緒に頂いた教職員、学生・ご父兄の皆様に深謝申し上げます。

令和6年度 聖陵同窓会決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額
入 会 金	150,000	272,865
終 身 会 費	300,000	580,000
雑 収 入	20,000	8,736
旅 費 交 通 費	0	5,000
特定預金取崩収入	0	0
計	470,000	866,601
繰 越 金	6,389,160	6,389,160
合 計	6,859,160	7,255,761

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額
事 業 費	3,500,000	3,263,149
事 務 費	10,000	1,170
通 信 費	50,000	2,950
会 議 費	100,000	35,000
慶 弔 費	100,000	0
旅 費 交 通 費	100,000	15,330
財政基金繰入支出	0	0
計	3,860,000	3,317,599
繰 越 金	2,999,160	3,938,162
合 計	6,859,160	7,255,761

事務局だより

今号にメッセージをお寄せいただいた4名の先生のほか、栄養科学科の北田憲一先生、杉山功先生もご退職となりました。北田先生は2年間、杉山先生は非常勤講師としてご勤務されました。授業ではお2人とも豊かな専門知識をわかりやすく示してください、学生にとって学びの広がる機会となりました。この場を借りてお知らせいたします。

さて、昨年度より導入されました「同窓生子女等入学金免除制度」。今年は文学部全学科で利用がありました。盛岡大学を進学先に検討されている場合、こちらの制度の利用も検討してみてもいかがでしょうか。

毎号同封しております葉書。感想には全て目を通し、紙面の参考とさせて頂いております。また、「同窓生から聞いて」という、住所登録も届いております。感謝申し上げます。

同窓会員やその保護者様より、大学や大同窓会を名乗った名簿詐欺の情報が寄せられております。同窓会ではこの同窓会報に同封している葉書以外の情報収集を行っておりません。不審な電話にお気をつけください。

編集後記

編集委員

古里愛子(平成24年度卒)/佐藤大裕(平成12年度卒)/上條尚樹(平成15年度卒)/長谷川健之(平成18年度卒)/柿本仁美(平成20年度卒)/平佳那(平成24年度卒)/和川美奈(平成25年度卒)/小棚木沙耶(令和3年度卒)

本学は2026年で創立45年を迎え、累計卒業生数は15,000名を突破しました。同窓会報も次号で30号となります。これからも大学の様子を同窓生の皆さんにお届けできるよう、一同尽力して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。